

道 東 自 動 車 道  
ト マ ム 南 富 良 野 地 区 下 部 工 工 事

割 掛 対 象 表 参 考 内 訳 書

割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、工事の実施にあたっては、この主旨を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段において、受注者の責任において定め、施工するものである。

なお、割掛対象表参考内訳書の内容について質問することはできない。

令和7年3月

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
帯広工事事務所

## 割掛対象表参考内訳書 1 / 5

### 【 共 通 仮 設 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用機械分解組立費 （ 土 工 ）	土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：4 台－4 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 150km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：2 台－2 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 構 造 物 掘 削 ）	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km（片道）】 クローラクレーン 50t～55t 級：4 台－5 往復 クラムシェル 0.6 m <sup>3</sup> 級：1 台－1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 150km（片道）】 クローラクレーン 50t～55t 級：2 台－2 往復 ○工事区内移動 クローラクレーン 50t～55t 級：1 台－1 回	—
工事用機械分解組立費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：1 台－1 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 橋 梁 下 部 工 ）	橋梁下部工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km（片道）】 全周回転式掘削機(径 1.2m 据置式)：2 台－2 往復 全周回転式掘削機(径 1.5m 据置式)：1 台－1 往復 クローラクレーン 60t～65t：3 台－3 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 150km（片道）】 全周回転式掘削機(径 1.2m 据置式)：1 台－1 往復 クローラクレーン 60t～65t：2 台－2 往復 ○工事区内移動 クローラクレーン 60t～65t：1 台－1 回	—
工事用機械分解組立費 （ オープンケーソン ）	オープンケーソンで使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 150km（片道）】 クローラクレーン 80t 級：2 台－2 往復 クラムシェル 1.0 m <sup>3</sup> 級：2 台－2 往復	

## 割掛対象表参考内訳書 2 / 5

工事用機械分解組立費 (鋼管擁壁工)	鋼管擁壁工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 クローラクレーン 150t 級：1 台－1 往復	○
工事用機械分解組立費 (地盤改良工)	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 0.8m <sup>3</sup> バックホウ (トレンチャ式)：1 台－1 往復	－
仮設材等運搬費 (特殊部 A 1)	構造物掘削 特殊部 A 1 で使用する仮設材 (H 型鋼等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 A 1 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 (特殊部 A 3)	構造物掘削 特殊部 A 3 で使用する仮設材 (鋼矢板等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 A 3 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 (特殊部 A 4)	構造物掘削 特殊部 A 4 で使用する仮設材 (H 型鋼等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 A 4 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 (特殊部 B 1)	構造物掘削 特殊部 B 1 で使用する仮設材 (H 型鋼等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 B 1 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 (特殊部 B 2)	構造物掘削 特殊部 B 2 で使用する仮設材 (H 型鋼、鋼矢板等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 B 2 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 (特殊部 C 1)	構造物掘削 特殊部 C 1 で使用する仮設材 (H 型鋼、鋼矢板等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 150km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 C 1 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 (特殊部 C 2)	構造物掘削 特殊部 C 2 で使用する仮設材 (H 型鋼、鋼矢板等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 150km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 C 2 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 (特殊部 C 3)	構造物掘削 特殊部 C 3 で使用する仮設材 (H 型鋼、鋼矢板等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 150km (片道)】 ・構造物掘削 特殊部 C 3 で使用する仮設材の運搬費	○
土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1 回	－
地質調査等費 (平板載荷試験)	平板載荷試験に要する費用をいう。	橋台、深礎杭 平板載荷試験：3 箇所 補強土壁工 平板載荷試験：1 箇所	－
アンカー工の多サイクル 確認試験費 (構造物掘削特殊部)	構造物掘削特殊部で使用する土留めのアンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。	12 箇所	－

## 割掛対象表参考内訳書 3 / 5

アンカー工の多サイクル確認試験費 (鋼管擁壁工)	のり面アンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。	3箇所	—
アンカー工の多サイクル確認試験費 (オープンケーソン工)	圧入ケーソンアンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。	14箇所	—
火薬庫費	火薬庫の営繕(設置・撤去・維持・補修)に要する費用をいう。	火工所：5ヶ月	—
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	橋梁下部工 側面：68箇所	—
配合試験費	地盤改良を行うにあたり、固化材の添加量を決定するための室内配合試験に要する費用をいう。	2回	—

### 【仮設備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
足場工費	橋梁下部工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋台、橋脚： 4,602.6 空<sup>m</sup></li> <li>・深礎杭(Φ5m以上)： 307.8 空<sup>m</sup></li> <li>・擁壁： 399.1 空<sup>m</sup></li> </ul>	—
足場工費 (地山補強土壁工、補強土壁工)	地山補強土壁工及び補強土壁工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	<b>【地山補強土壁工用足場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地山補強土壁工：557.5 空<sup>m</sup></li> </ul> <b>【補強土壁工用足場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補強土壁工(ブラケット型)：延長 11.8m 巾 600mm</li> </ul>	—
支保工費	コンクリート構造物の施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための仮設の支保構造物に要する費用をいう。	<b>【くさび結合支保工】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・載荷荷重 5.7t/m<sup>2</sup> 1,303.5 空<sup>m</sup>、残置日数：53日</li> <li>・載荷荷重 2.4t/m<sup>2</sup> 318.4 空<sup>m</sup>、残置日数：53日</li> </ul>	—
築島工費	ケーソン用刃口用くつの据付けに必要な刃口部取付用支保工等に要する費用をいう。	<b>【くさび結合支保工】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・載荷荷重 8.5t/m<sup>2</sup> 90.2 空<sup>m</sup>、残置日数：17日</li> </ul>	—

## 割掛対象表参考内訳書 4 / 5

ケーソン用足場費	ケーソン躯体の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	外足場： 636.2 空 <sup>m</sup> 内足場：1,047.1 空 <sup>m</sup>	—
ケーソン用頂版支保工費 (トマム川橋 P 1)	トマム川橋 P 1 橋脚のケーソン用頂版の施工に必要な仮設材 (H型鋼等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 150km (片道)】 ・トマム川橋 P 1 橋脚で使用する仮設材の運搬費に要する費用	○
ケーソン用頂版支保工費 (トマム川橋 P 2)	トマム川橋 P 2 橋脚のケーソン用頂版の施工に必要な仮設材 (H型鋼等) の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 150km (片道)】 ・トマム川橋 P 2 橋脚で使用する仮設材の運搬費に要する費用	○

### 【 雑 工 事 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
河川・水路の締切、 迂回費	工事の施工に伴って、支障となる河川を締切り、迂回する仮設材 (鋼矢板) の運搬、仮設物に要する費用をいう。	○トマム橋で使用する仮設材の運搬費及び仮設物の設置撤去に要する費用 ・基地からの運搬【運搬距離：約 145km (片道)】 鋼矢板Ⅲ型 L=9.0m 17 枚 鋼矢板Ⅲ型 L=8.5m 7 枚 鋼矢板Ⅲ型 L=8.0m 3 枚 鋼矢板Ⅲ型 L=7.5m 24 枚 (リース期間 15.0 ケ月) 大型土のう：5 袋 (存置 2 年未満、中詰め土はトマム地区ずり置場で製作、運搬) 波型管 φ1100 : 19.3m 波型鉄板柵渠 1000×1500 : 31.7m 集水桝 1500×1500×1500 : 1 基 集水桝 1500×1500×500 : 1 基 ※上記材料の内鋼矢板以外は撤去後、処分とする。	○
コンクリート寒中養生費	寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。	寒中コンクリート養生期間：11 月上旬～4 月中旬 シート面積：1,077.7 m <sup>2</sup>	—

## 割掛対象表参考内訳書 5 / 5

火 薬 取 扱 い 費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間：5ヶ月	—
構 造 物 水 抜 穴 費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	橋台：VP（φ50）：112.5m 橋台：VP（φ75）：38.7m	○
目 地 材 費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	【目地板（t=2cm）】 擁壁、補強土壁：48.3 m <sup>2</sup>	○
く い 頭 処 理 費	場所打ち杭のくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。	φ1200：48本、φ1500：9本	○
支 承 ア ン カ ー ボ ル ト 箱 抜 費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置、トランペットシースを設置するための、箱抜に要する費用をいう。	96箇所	○
場 所 打 ち ぐ い （ 人 力 掘 削 ） 根 固 め コ ン ク リ ー ト 費	ライナープレートの自重による沈下防止及び雨水の進入防止のために行う根固めコンクリートに要する費用をいう。	ガイドウォール 捨土掘削：32.2 m <sup>3</sup> （トマムIC盛土場へ運搬） コンクリートC2-1：32.2 m <sup>3</sup> 型枠D：37.8 m <sup>2</sup> 鉄筋A：2.016t	○